

**東京センチュリー（株）に対し、
「DBJ健康経営（ヘルスマネジメント）格付」に基づく
融資を実施
—最高ランクの格付を取得—**

株式会社日本政策投資銀行（以下「DBJ」という。）は、東京センチュリー株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：馬場高一、以下「当社」という。）に対し、「DBJ健康経営（ヘルスマネジメント）格付」（以下「DBJ健康格付」という。）に基づく融資を実施しました。

「DBJ健康格付」融資は、独自の評価システムにより、従業員への健康配慮の取り組みが優れた企業を評価・選定するという、「健康経営格付」の専門手法を導入した世界で初めての融資メニューです。

当社は、「健康経営基本方針」の中で、最大の財産である人材一人ひとりが心身ともに健康で、個性と持てる能力を存分に発揮し、いきいきと働ける環境を整備することが重要であるとし、健康管理を経営課題としてとらえ、役職員とその家族の健康保持・増進に取り組んでいます。

今回の格付では、以下の点を高く評価しました。

- (1) 経営理念実現のために役職員の健康保持・増進を経営課題として捉える旨の健康経営基本方針を新たに策定し、具体的な施策として、産業医・産業保健師や健康保険組合、社外有識者と連携しながら、様々な健康課題を扱い意識醸成を促すeラーニングの作成及び全役職員への実施、健康増進アプリ提供による生活習慣改善の促進、35歳以上の役職員に対する定期健康診断での人間ドックの実施等に取り組んでいる点
- (2) マテリアリティの一つとして掲げる「人材力強化につながる職場環境整備」を実現すべく、長時間労働の抑制に向けた継続的なアラート発出、全従業員の労働時間や有給休暇・育児休業取得実績の部門長への共有を通じた改善促進、ダイバーシティに関する全役職員を対象としたeラーニング研修やセミナー開催等の施策を実施していることに加え、かかる取り組みに関する目標や実績を人材関連データとして幅広く開示している点
- (3) コーポレートスローガンに「その挑戦に、力を。」を掲げる通り、2030年に目指す姿の実現の要となる従業員の専門性向上や挑戦姿勢等を支援すべく、必要となる人材戦略・主要施策を策定し開示するとともに、従業員のエンゲージメント向上に向けて、社内公募制度や新規事業提案制度等、意識調査の分析結果に基づいたキャリア形成支援策を導入している点

その結果、当社は「従業員の健康配慮への取り組みが特に優れている」という格付を取得しました。

DBJ は、企業理念「金融力で未来をデザインします～金融フロンティアの弛まぬ開拓を通じて、お客様及び社会の課題を解決し、日本と世界の持続的発展を実現します～」に基づき、健康経営に向けたお客様の取り組みを積極的に支援してまいります。

【お問い合わせ先】

企業金融第3部 電話番号 03-3244-1489